

第8回 市民活動団体交流会 報告書








日時 令和元年6月29日(土) 12:30~16:30

場所 丸子ふれあいステーション 3階会議室



令和元年度市民活動団体交流会 次第

(兼平成 30 年度わがまち魅力アップ応援事業実績報告会)

12:30	開 場 ・ 展示発表 (自由閲覧)	
12:50	オープニングセレモニー 「深山古民家コンサートを支援する会」の皆さんによる歌唱	
12:55	開 会・あいさつ (交流会実行委員会座長)	
13:00	平成 30 年度わがまち魅力アップ応援事業報告会(全 22 団体 / 1 団体 5 分以内のポイント発表) 【実施報告団体(H30 補助金受給団体)】 (発表順) <平成 30 年度新規団体 > 1)雷電為右衛門実行委員会 2)ゆうあいまるこ 3)信州だから元気 4)グリーンヒル環境整備の会 <実施継続団体 > 8)鹿教湯温泉 100 年ブランド創造プロジェクト 「信州うえだ健幸都市推進事業実行員会」 9)上田市防災士等連絡協議会 10)霊泉寺温泉自然 JUKU プロジェクト アウトドア部 5)辰の口竹林活性化プロジェクト 6)塩川地区地域づくりの会 7)「深山古民家コンサート」を支援する会 11)「西内時報」の会 12)上田グローバルネットワーク	
14:00	 休憩 (10 分間)	
14:10	13)中丸子歴史研究会 14)雅楽の演奏復活の会 15)チームあったかい輪 16)飯沼自治会 17)中丸子自治会下組分会 18)信州じゃ～麺研究委員会 19)まるこベルシティまつり実行委員会 20)信州国際音楽村公園バラの会 21)下和子素浪人の会 22)尾野山史跡めぐり協議会	
15:10	質疑・応答	
15:20	休憩 (10 分間)	
15:30	テーブルごとの討議 (交流) ・運営する上での問題点と解決した事例 ・継続するにあたり課題点 ・補助金が無くなった後の運営の仕方について(財源の確保や財源無しでの運営の仕方)	
16:10	テーブル発表 (テーブルリーダー)	
16:25	まとめ・総括 (交流会実行委員会座長)	
16:30	閉 会	

第 8 回 市民活動団体交流会 参加団体名簿

五十音順

NO	申請団体名	採択年	報告団体	参加人数
1	飯沼自治会	H28	○	1
2	上田グローバルネットワーク	H29	○	1
3	上田市防災士等連絡協議会	H29	○	3
4	尾野山史跡めぐり協議会	H26	○	3
5	雅楽の演奏復活の会	H28	○	1
6	鹿教湯温泉 100年ブランド創造プロジェクト「信州うえだ健幸都市推進事業実行委員会」	H29	○	1
7	グリーンヒル環境整備の会	H30	○	1
8	腰越自治会 お練実行委員会	H28		1
9	塩川地区地域づくりの会	H30	○	4
10	下和子素浪人の会	H26	○	2
11	信州国際音楽村公園 バラの会	H27	○	3
12	信州じゃ～麺研究委員会	H27	○	2
13	信州だから元気	H30	○	1
14	辰の口竹林活性化プロジェクト	H30	○	1
15	チームあったかい輪	H28	○	1
16	中丸子自治会（下組分会）	H27	○	1
17	中丸子やまびこ会	H25		1
18	中丸子歴史研究会	H28	○	1
19	「西内時報」の会	H29	○	1
20	まるこベルシティまつり実行委員会	H27	○	1
21	「深山古民家コンサート」を支援する会 （オープニング演奏）	H30	○	1(+1)
22	ゆうあいまるこ	H30	○	1
23	雷電為右衛門実行委員会	H30	○	2
24	霊泉寺温泉自然 JUKU プロジェクト アウトドア部	H29	○	1
25	その他（個人参加・傍聴）			2
26	丸子地域協議会委員			14
27	丸子地域協議会事務局職員			4
計				56(+1)

展示



「上田市防災士等連絡協議会」、「塩川地区地域づくりの会」、「雷電為右衛門実行委員会」から活動紹介や貴重な資料などを出展いただきました。

オープニングセレモニー（「深山古民家コンサートを支援する会」の皆様）

オープニングセレモニーとして「深山古民家コンサートを支援する会」の皆様に「緑のそよ風」を歌っていただきその後に参加者全員で歌いました。



挨拶（市民活動団体交流会実行委員会 横山座長）

皆様こんにちは。本日は、お忙しい中大勢の皆様お集まりいただきまして誠にありがとうございます。本日の市民活動団体交流会の座長を務めさせていただきます、横山と申します。何分不慣れではございますが、実りある交流会となりますよう精一杯努めてまいりますので、皆様のご協力を宜しくお願いいたします。

先程はオープニングセレモニーとして「深山古民家コンサートを支援する会」の皆様に歌を披露していただきました。素晴らしい歌声で、また会場の皆様全員が声を揃えて歌うという、市民団体交流会にとってもふさわしいオープニングセレモニーをしていただきまして、誠にありがとうございます。声を出すという事はとても大事な事で、この交流会の席でも大勢の皆様ざっくばらんにご発言いただきまして、良い会となりますようお願いしたいと思います。

さて、丸子地域協議会の発案により始まりましたこの市民活動団体交流会でございますが、地域の問題解決や振興に先進的に取り組んでこられた皆様が一堂に会する場でございます、今回では 8 回



目となりました。本日の市民活動団体交流会では、わがまち魅力アップ応援事業の補助事業について、市民の皆様にご報告をする報告会も兼ねております。本年度補助を受けておられる団体の皆様には、後程実績報告を行っていただくことになっております。時間の関係上、意見交換会のお時間は40分程度とさせていただきましたが、継続的に活動をされていくための問題解決に向けて、情報交換や人事交流の場としていただけたらと思います。

本日会場には、温かい飲み物とまるこ福祉会様の手作りクッキーをご用意させていただきました。どうぞご自由にお取り頂き、飲み物や食べ物をいただきながらで結構ですので、気軽にご参加そしてご発言をお願いしたいと思います。

各会場テーブル席には地域協議会のメンバーがおります。そのことも含めまして地域協議会が今後また活発な活動が続けていかれるように皆様のお力をいただきたいと思います。それでは、皆様、本日はどうぞ宜しくお願いいたします。

<平成30年度わがまち魅力アップ応援事業実績報告会>

平成30年度のわがまち魅力アップ応援事業補助金受給団体のうち22団体が、以下の順番にて、事業の進捗状況やポイント、PRしたいことなどそれぞれ5分程度のプレゼンテーションにより報告しました。

<平成30年度新規団体・事業名>

- 1) 雷電為右衛門実行委員会 【雷電為右衛門学び舎の郷（長瀬村）】
- 2) ゆうあいまるこ
【外国籍住民と共に防災、減災を考える】
- 3) 信州だから元気
【手のひらを太陽にスカしてみよう】
- 4) グリーンヒル環境整備の会
【花いっぱい遊歩道整備事業】
- 5) 辰の口竹林活性化プロジェクト
【荒廃竹林の活性化事業】
- 6) 塩川地区地域づくりの会
【歴史と未来あふれる塩川地区の魅力再発見・発信する事業】
- 7) 「深山古民家コンサート」を支援する会 【深山古民家コンサート事業】



<実施継続団体・事業名>

- 8) 鹿教湯温泉100年ブランド創造プロジェクト「信州うえだ健幸都市推進事業実行委員会」 【～健康の里発～健やか・幸せ 健幸実感事業】
- 9) 上田市防災士等連絡協議会 【上田地域防災・減災対策自助事業】
- 10) 霊泉寺温泉自然 JUKU プロジェクト アウトドア部

【アウトドアスポーツが楽しめる温泉地の発信 & ネイチャーイベント開催事業】

- 11) 「西内時報」の会 【「西内時報」復刊事業】
- 12) 上田グローバルネットワーク 【地域と世界のかけ橋プロジェクト】
- 13) 中丸子歴史研究会 【シルク繁栄今昔物語事業】
- 14) 雅楽の演奏復活の会 【歴史と文化の復活プロジェクト】
- 15) チームあったかい輪

【暖かで豊かな地域づくり 生きがい、ふれあい地域多機能ステーション事業】

- 16) 飯沼自治会 【中城ほたるの里整備事業】
- 17) 中丸子自治会下組分会

【ベルシティ地域交流(りんご祭り)事業】

- 18) 信州じゃ～麺研究委員会
【新グルメ(信州じゃ～麺)で地域活性化事業】
- 19) まるこベルシティまつり実行委員会

【まるこベルシティまつり】

- 20) 信州国際音楽村公園バラの会
【信州国際音楽村公園花壇整備事業】
- 21) 下和子素浪人の会 【地域の史跡整備と伝承】
- 22) 尾野山史跡めぐり協議会 【尾野山史跡めぐり遊歩道の整備】



【ご質問・ご意見】

ご質問) 助成金ということでお金をいただき限度額 80%ということですが、例えば 100 万円だったら 80 万円いただきまして、残りの 20 万円は年度で全部事業が終わった時点となり、それまでは立替払いという格好になるかと思うのですが、各団体では立替払いをどのような格好でされているのか、個人でされているのか、それとも寄付金か何かを充当されているのかを全体的にお聞きしたい。平成 20 年度最初にわがまち魅力アップ応援事業をやった時に、協力会社の賛助金という形で寄付金をいただいて、その 30%限度額という条件がありましてその金額である程度いろんな運用関係をやらせていただいたのですが、それは今の中身では不可能な状態になっておりますので、どうしてもその 20%が事業遂行上残るといような状況、立替払いといような内容になっておりますので、そこら辺の運用の仕方を教えて頂きたい。あと長野県の元気づくり支援金ですが、どのような予算配分になるのか、80%限度額になるのか教えて頂きたい。



回答(事務局))80%というのは丸子地域だけではなく、上田市の規定によりまして 80%と皆様ご理解いただいているかと思うのですが、20%をどのような形で立替されてい

るのかという事ですが、この後のテーブル討議の中でそれぞれの団体からお話頂ければと思います。

あと長野県の元気づくり支援金の補助につきましては、お調べして後日またご報告させていただきますので、宜しくお願い致します。

【報告（元気づくり支援金の補助について）】既に支払った（要領収書）金額の 80%を上限として年 3 回までを限度に補助金の概算払いが可能とのことでした。

< テーブル討議・発表 >

参加者が 4 つのテーブルに分かれて

- ・ 運営する上での問題点と解決した事例
- ・ 継続するにあたり課題点
- ・ 補助金が無くなった後の運営の仕方(財源の確保や財源無しでの運営の仕方)
- ・ 補助金 2 割分の立替の財源

をテーマに意見交換をしました。

討議終了後、各テーブルで出された意見をテーブルリーダーから発表いただきました。

【第 1 テーブル発表】

まず現在の課題として、地元の各班にチラシを回覧してもらえないというお話がありましたが、色々な団体の皆さんにお聞きしたところ、それぞれ地区の自治会長あるいは責任者に許可を得て、報告会の中では自分で配布するという形でしたが、各地区では 1 日と 16 日の月 2 回に間に合うように責任者に持っていけば各班に配布してくれるという事でした。

もう 1 点は、個人的な団体ではないかということでしたが、この魅力アップは公の団体ですので、決して個人的な団体のお願いはない、この辺はしっかり地区の自治会長や責任者にお話して各班の班長にも理解して頂ければと思います。

また、会を運営していく中で高齢化していよいよ動けなくなるという状況でどうするか、グループの中では、地域の自治会の皆さんと手を携えてやっていく事が一番継続することではないか、団体個別で展開すると将来的に継続が非常に難



しくなる。地域の自治会、あるいは色々な団体の方と組んでやることによって幅広く人材も集まる、会を継続していくということで、是非地域の方々と共にやるということが大事かと。また外国人対応、最近日本は国際化して大勢の外国人がいる、今問題になっている

のは、子ども達が学校へ行っても言葉の壁にぶつかって、学校自体も非常に苦労しているのが実情。団体の皆さん方本当にボランティアで一生懸命やっただけなのに、行政も含めて対応していかないと、この外国人の問題は中々解決できない、日頃起きているような形での展開というのが難しいということです。特にブラジルだとか最近フィリピンだとかインドネシアとか色々東南アジアの方からも入ってきて、言語が非常に多言語化しているので、いちボランティア団体だけで解決できない問題かと思えます。地道にやっただけの団体の皆さんには頭の下がる思いです。

地域の中で歴史を掘り下げて、広く世に出し理解して頂く活動ですが、色々な団体で同じような内容のことをやっていますが、団体同士で手を携えて幅広くやっただけでは、その地区だけでなく丸子全体の事も分かってくるのではないかと思います。この辺のことについても高齢化によってその後どうするかというのが後の継続という問題はこの団体にも言えることですが、広く若い人とひと口に言っても中々集まってもらえない、解決できない部分もあるというのが実情であります。これは本当に今後の課題だと思えます。

【第2テーブル発表】

問題点につきましては、やはり第1テーブルと同じように高齢化というのが大変問題になっていました。あと自治会とのつながりということが、なかなか難しいというお話です。土地を利用するにあたって、特に地元にはいない地主さんについて、ちょっと色々困っていらっしゃるという意見もありました。先程の補助金の2割分についての話ですが、会によっては色々な事業をやっただけで収益で会の蓄えがあるところから立替える、自治会にとりあえず負担していただく、ボランティアなのに会費を集めてやってらっしゃる団体の方が



多くて、その中から賄う、という意見がありました。2割についてなんですけども、領収書を提出しての報告なので、最初に全部で余ったら返すほうが、方法としては正しいのではないかという意見でもありました。補助金が無くなってからのその後については、せっかくやった事業ですので、若い世代に引き継いで頂けるように補助金が無くなってでも続けて頂

けるっていう仕組みを作っていかなければいけないということで、資金調達の中には先程の会費を集めてというのと、苗や肥料を作って販売してとか、講習会をやっただけのほうで資金を調達するなどというお話もありました。

【第3テーブル発表】

課題点等については、皆さん先程の事業報告の中でありましたが、なかなか作業整備に

については動力が大変だとか機械を持ち込まなければいけないとか意見がありました。このテーブルでは今後について、資金が終わった後について、地域の皆さんから会費を頂いてそれを資金にする、これはおまつり実行委員会についてですけど、その他には、イベントに関しては参加者から多少の参加料をもらう、その時に地域の皆さんにボランティアとして活動して頂いて、参加者からは多少参加料を頂いて今後も続けていく。自分達が管理しているところの中で肥料とか苗木、花のブーケ等々を販売しながら、それを今後の資金にしていく、そんな意見がありました。先程の事業費 80%について、このテーブルも個人で立替たり、収入金のある中で自己資金の中で取りまわしている。立て替えという意見が多くありました。その中で要望は、事業を立ち上げる時点で自己資金がない場合どうするか、立て替えとなると私のお金を出す、この事業は公金を使って事業をするのであって、その中で個人のお金を当初に出すというのは問題ではないかという意見もありました。これは今後行政のほうで考えて頂ければいいかと思います。



【第4テーブル発表】

同じグループのメンバーがテーブルごとに散らばっていますので、これまでの3テーブルの中で大体出てきたかなと思います。8割、残りの2割のことについて、これまで出た話と同様に会費収入があるのでそちらで賄っているケースと、一旦個人立替えのケース、売り上げを生ませるような事業を他でしてらっしゃる会の方はその売り上げの中から賄っているというお話もありました。古くからある定番の問題だと思うんですが、活動資金の事につきましては、お話を伺っている限りではその活動を行っていく中で、お金のやり取りが発生するような活動をされているところというのは比較的弾力的にやることで新たな資金を生みやすい印象を持ちました。採択期間が終わってからどうするかということですが、内容については比較的講師謝金というものが多いかと思うのですが、これにつきましてはイベント等の参加費で賄うケースもあれば、これまで教わってきたことを自分達が覚えた事を教えるという事によって賄っていく、まわしていくと、



いるというお話もありました。古くからある定番の問題だと思うんですが、活動資金の事につきましては、お話を伺っている限りではその活動を行っていく中で、お金のやり取りが発生するような活動をされているところというのは比較的弾力的にやることで新たな資金を生みやすい印象を持ちました。採択期間が終わってからどうするか

かということですが、内容については比較的講師謝金というものが多いかと思うのですが、これにつきましてはイベント等の参加費で賄うケースもあれば、これまで教わってきたことを自分達が覚えた事を教えるという事によって賄っていく、まわしていくと、

そういったお話がありました。今後は自治会との絡み方が一つのキーワードになってくるかと思ひながら話をうかがいました。

< 総括(横山座長) >

皆様、長時間にわたり大変お疲れ様でございました。テーブル討議、40分では短かったかと思ひます。皆様の熱い思いや熱心な取り組みをご披露いただき、大変有意義な交流会になったのではないかと思ひます。本当にありがとうございました。

私が今回座長として参加させていただき感じた事ですが、こうして代表としてこういう会に参加し、そして日頃の活動を発表していただき、思いや悩みを打ち明けながらざっくばらんに話ができるこの会が毎年行われていることの意味がとても感じられ、そしてまた各会の皆様方がどうしてやっていらっしゃるのかの中に、自分達が楽しむんだと、それがとても印象的になったことと、また目的が防災など今本当に不安な時代と言いますか、安全とか安心とか子どもとか世代間交流とか、本当に日常のニュースを見ている中で心痛むことが多々あります。また今回の中では自治会という言葉がとても聞かれましたので、一つ一つの団体様が一人一人で頑張るのではなく、ネットワークを作りながらそして自治会と結びつき、公金を頂いての活動ですが、その活動を続けていく上で行政に働きかけられるような仕組み作りが重要なのかと感じました。世代間交流ですとかコミュニティ、そして景観を守る、自然環境の整備、また音楽とか芸術を継承していく、そういうことではとても有意義な事を皆様されておりますので、是非この交流会をきっかけに色々なネットワークを作りながら更に飛躍していただきたいと思ひます。私が初めてここに参加させていただいた時に尾野山史跡めぐり協議会の皆様と出会いました。そしてまた仕事も絡みますが、ウォーキングで利用させて頂いております。そのあと箱山城、そして腰越、更には今年から塩川地区も参加して頂き、私住まいは塩川ですが塩川も遊歩道ができたら良いなと思っていた事が実現しそうでとてもうれしく思ひました。丸子地域はとても長い歴史が多く、いろんな地域が一緒になって、塩川から鹿教湯まで通いますと20kmあるのですが20km以上の長い特徴のある丸子地域が色々結びつきながら更に発展して頂ければと思ひます。

補助金には県の事業ですとか今まで私も聞いたことがあります、どうしても立替払いが多いと、その中で少しでも変化ができて頂ければと思ひます。行政の方とボランティア、そして地域の皆様、自治会の皆様が一堂に会す会は中々作ろうと思っても作れません。まちづくり会議も盛んになってきておりますので、いろんな所へ顔を出したり、また今日発表して頂いた蛸の場所ですとか、雅楽の会の演奏の練習ですとか、そういう所にも顔を出したいなと思ひました。

以上、簡単でございませうけれども、皆様のご健康とご健勝を願ひまして、これを持って総括とさせていただきます。本日この交流会に携わって頂きました多くの皆様、長時間にわたり本当にありがとうございました。